

平成25年3月

授業力向上の取組み（平成24年度）

大阪府立みどり清朋高校

校長 久木元 秀平

本校では、授業力の向上を学校目標の大きな柱に掲げ、様々な取組みを行っています。平成24年度は大阪府教育センターが実施する「パッケージ研修支援」の対象校になり、組織的な校内研修体制の確立と教員全体の授業力の向上をめざして継続的な支援を受けることができました。加えて、本校独自に改善に向けての様々な取組みを行いました。

今年度の授業力向上の取組みの経緯と結果、及び分析・総括についてご報告します。

なお今後とも授業力の向上に向け教員一丸となって取り組んでまいりますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

(1) 経緯

①パッケージ研修第1回全体研修会の実施【7月3日】

内容：「みどり清朋授業スタンダード」の確立に向けた取組についてのワークショップ協議とスタンダードの共有（「授業の導入での目標の明確化」など）



ワークショップの様子

②第1回一斉授業アンケートの実施【7月10日】

③評価をもとに授業改善セルフチェック提出及び教科での討議【11月12日～11月21日】

④教員相互の授業見学実施（7グループ編成）【11月12日～11月21日】

⑤グループ毎の授業見学の振り返り討議の開催【12月3日】

⑥職員会議での振り返り討議の発表と共有化【12月6日】

[主な意見]

- ・自分自身のできていなかったところを中心に生徒の立場に立って授業をみる事ができた。
- ・生徒に前を向かせる視覚的な授業の必要性を感じた。
- ・勉強させる為の意識づけとして、導入部分での小テストや目標の明確化の必要性を感じた。生徒が手が届きそうな発問の工夫と、何か答えさせる誘導発問が必要教員も生徒も緊張をもって授業がやれた。
- ・落ち着いたある授業で生徒との「距離間」が参考になった。

⑦第2回一斉授業アンケートの実施【11月29日】

⑧公開研究授業の開催（情報科・英語科）【1月18日・1月23日】



ICTを活用したウォームアップ
クイズと黒板に貼り出された目標



自分で作った英文を見せながらの
発表風景

⑨パッケージ研修第2回全体研修会の実施【1月23日】

内容 みどり清朋授業スタンダードの確立（最終形）と共有

- ・授業の導入での目標の明確化
- ・最後のまとめの必要性
- ・教材の視覚化（ICT機器やヴィジュアル教材の使用）
- ・生徒参加型や活動型授業
- ・双方向の対話型授業
- ・生徒を褒め達成感を与える

⑩授業アンケートの比較・検討【2月1日～2月7日】

(2)授業アンケート結果

*授業アンケート項目

*授業アンケートにおける授業評価項目

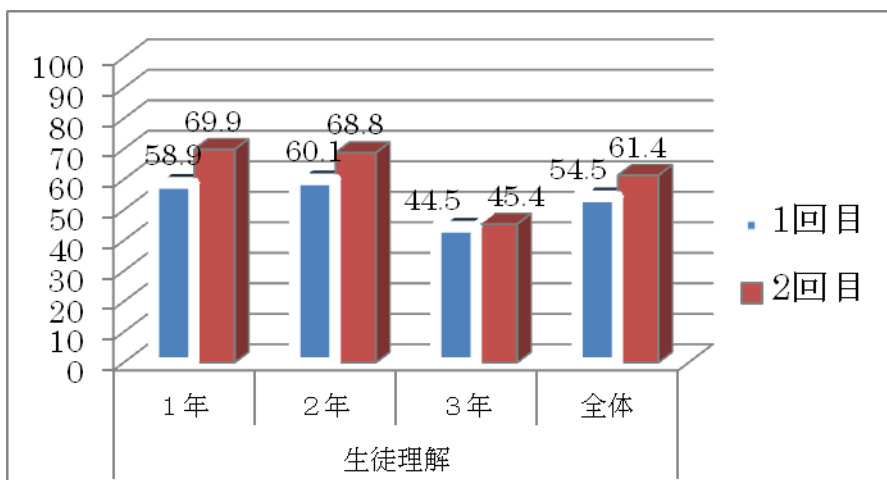
- A) 授業評価 ①生徒理解「難易度・速度の妥当性」
②授業計画「授業の目標やねらいの明確化」
③教材活用「プリントや補助教材の活用」
④授業展開「大きな声、わかりやすい言葉」
⑤授業分析「教材研究への努力、熱意や意欲」
- B) 自己評価 ⑥チャイム着席「チャイムの前に教室に入っている」
⑦予習・復習「予習・復習の家庭学習の時間」
⑧授業での集中「集中して話を聞き学習に取り組んでいるか」
⑨満足度「分かる授業・魅力的な授業として満足しているか」

○評価点（4段階方式）

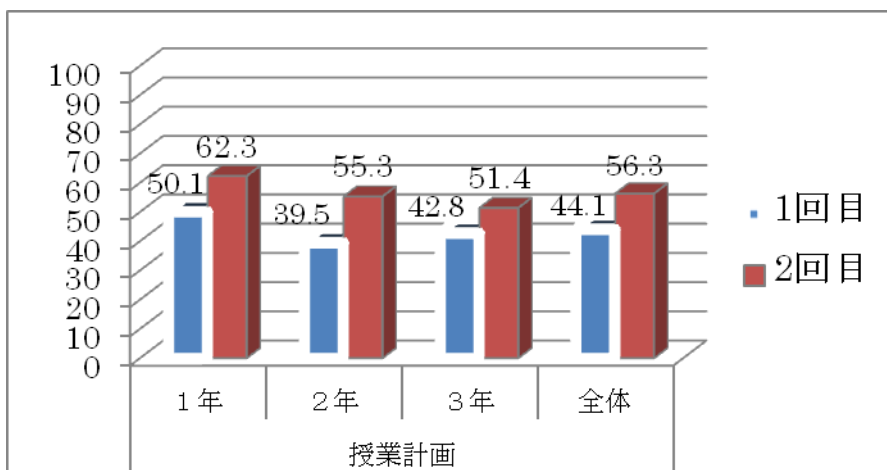
4：そう思う、3：ややそう思う、2：あまり思わない、1：思わない

*以下、肯定的評価（「そう思う」「ややそう思う」の合計）の割合を示します。

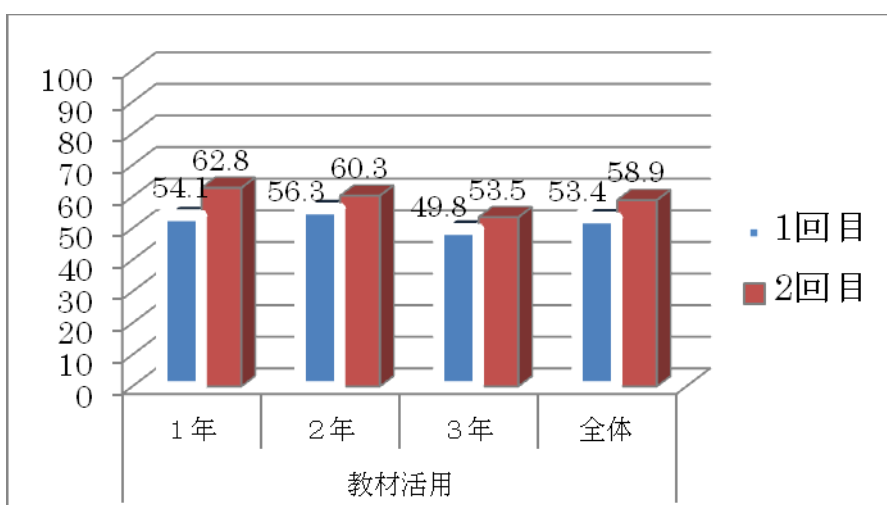
①生徒理解



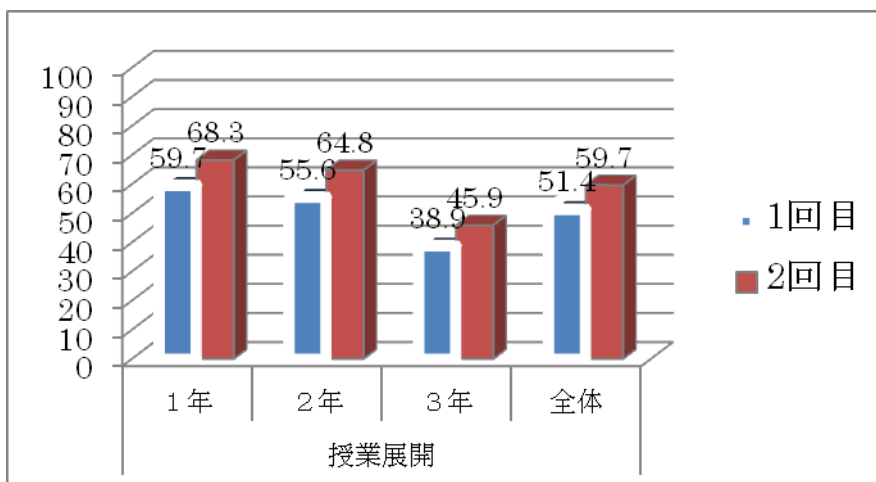
②授業計画



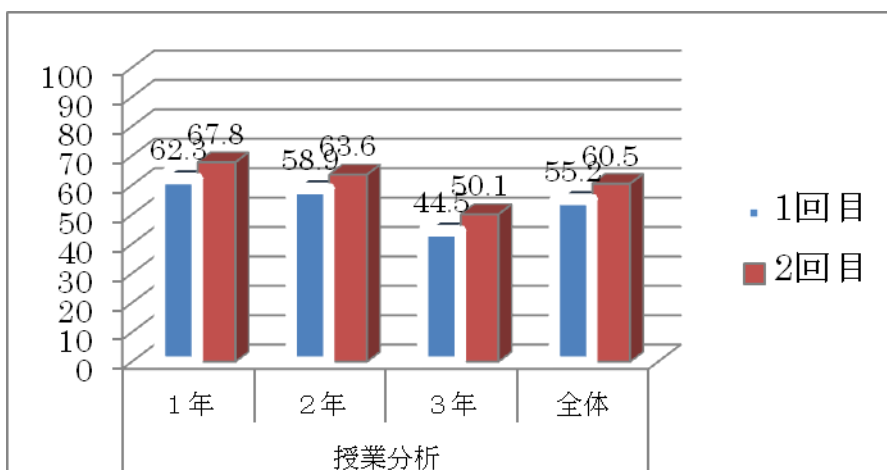
③教材活用



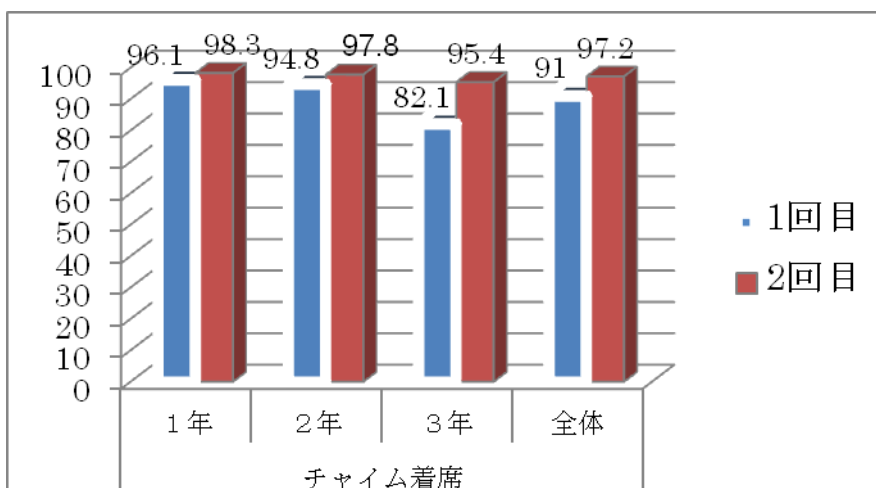
④授業展開



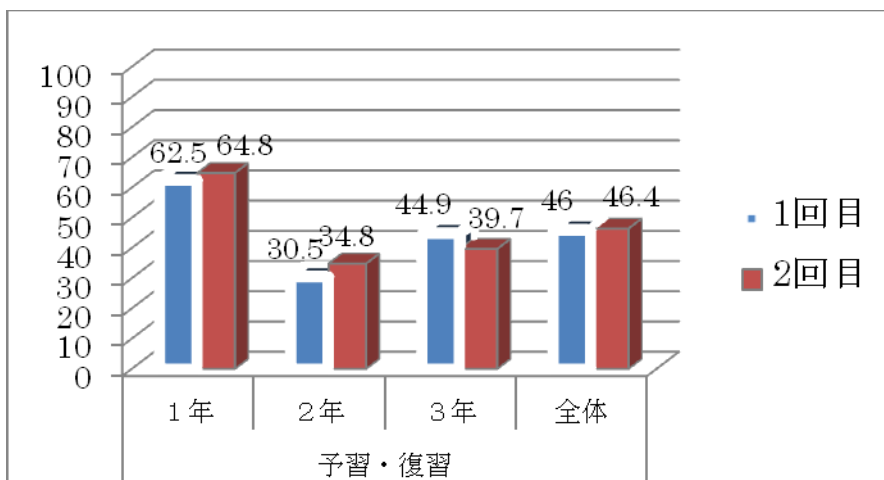
⑤授業分析



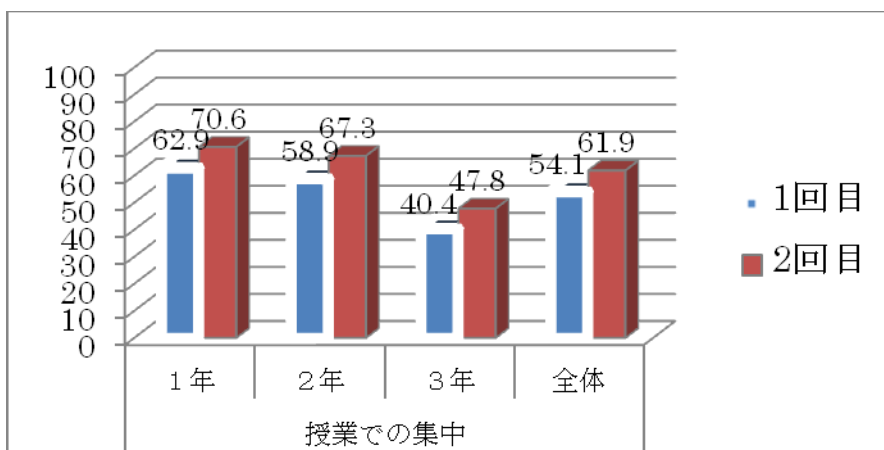
⑥チャイム着席



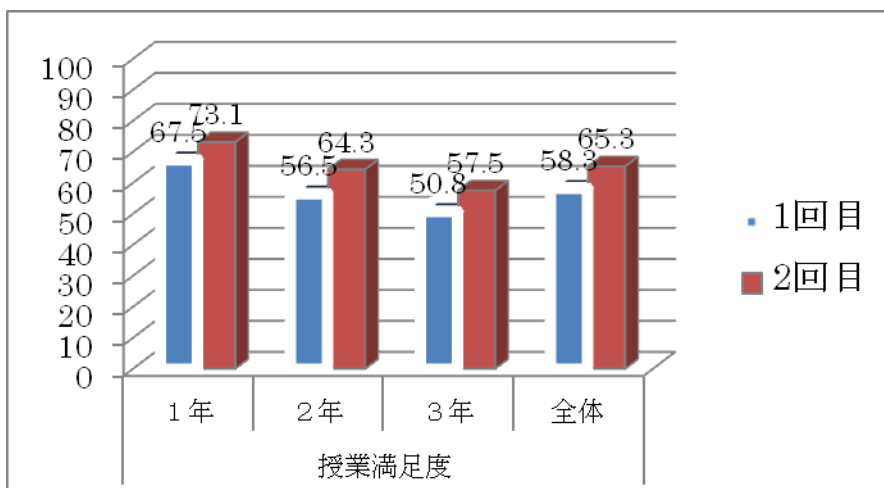
⑦予習復習



⑧授業での集中



⑨授業満足度



(3) 分析・総括

○分析

- ・全ての項目で1回目から2回目に上昇。⑩「授業満足度」は7.0P(ポイント)上昇(58.3%→65.3%)
- ・特に大きく上昇したのは、②「授業計画」の12.2P(44.1%→56.3%)、④「授業展開」の8.3P(51.4%→59.7%)、⑧「授業での集中」7.8P(54.1%→61.9%)。
- ・上昇数値の低い項目は、⑦「予習復習」の0.4P(46.0%→46.4%)。これについては3年生の数値がダウンしたことが大きいですが、秋の時点で進学先が固まるものが半数近くいることが影響していると思われる。
- ・⑥「チャイム着席」については6.2P(91.0%→97.2%)上昇し、今年度の経営計画の目標数値を上回った。

○総括

ポイントが上昇した大きな理由は、今年度、教育センターのパッケージ研修の支援を受けたことを契機に、教員全体に授業力向上に向けての気運が高まったことがあげられる。

特に、本校としての授業スタンダード(*)の確立、教科の枠を超えたグループ毎の授業見学、授業アンケート結果の「見える化」などにより、教科・グループ間での話し合いや職員会議における結果の共有が図られた。

なおアンケート2回の比較では上昇したものの、項目によっては数値そのものが低いものもあり、改善に向けての努力が必要である。特に「教材の視覚化」については授業スタンダードの項目にもなっており、今後ICT機器の活用につき具体策を考えていきたい。

以上